

# ★ ★ ★ 南十字星

発行者  
クイーンズランド  
日本語補習  
授業校校長  
丸山吉信

## 今後の予定

- 七月十九日
  - ・ GC 教員研修
  - ・ BNE 理科学習の日
- 七月二十六日
  - ・ BNE 朝練最終回
  - ・ BNE 第二回運営委員会
- 八月二日
  - ・ GC 休校 (オールセイন্ツ祭のため)
- 八月九日
  - ・ BNE 運動会 (予備日二十三日)
- 八月十六日
  - ・ BNE 授業参観 & 学級懇談会
  - ・ GC 補講一回目
  - ・ GC 第二回運営委員会
- 八月三〇日
  - ・ GC 運動会
- ・ BNE 理科学習の日
- 九月十三日
  - ・ GC 補講二回目
- 九月二〇日
  - ・ 第二学期終業式
  - ・ 成績通知表配布

## 七夕集会

七月十二日は七夕集会の日でした。ゴールドコースト校では皆で七夕の歌を歌い、その後、短冊に願い事を書いて笹に飾りました。ブリスベン校では、七夕の歌に代えて運動会用の「ジェンカ」の練習をしましたが、後で、短冊を作り、休み時間に皆で中庭に飾りました。



ブリスベン校の七夕

- 〈ブリスベン校〉
- ・ 英語と数学ができるようになりましょう！ (中三)
  - ・ 現地校でもっと友達ができますように！ (中二)
  - ・ 皆、「あゆみ」にいい成績がもらえますように！ (六年)
  - ・ 勉強を頑張って、いい大学に行きたいです！ (五年)



ゴールドコースト校の七夕

- 〈ゴールドコースト校〉
- ・ 日本に三ヶ月ぐらい行きたい。 (中三)
  - ・ 歯の矯正がうまく行きますように！ (中二)
  - ・ 教科書を読むのが上手になりたい。 (六年)
  - ・ 大きな発明家になりたいです。 (五年)

## お知らせ

ゴールドコースト校では、オールセイন্ツ祭のため八月二日を休校日とし、振替授業を以下の通り実施します。

- 八月十六日および九月十三日
- 五校時 (十二時五十分〜十三時三十分)
- 六校時 (十三時三十五分〜十四時十五分)

## 全校朝会スピーチ

- 五月三十一日
- GC 中三 羽部志玲奈
- 皆さんは、バスケットボールをしたことがありますか。バスケットボール

は、世界中で有名なスポーツです。チームに五人の選手が出て、ポイントガード、シューティングガード、スモールフォワード、パワーフォワード、センター、とコートに立つ選手に一人一人の役割があつてプレイするものです。一つ一つのポジションによってやらなければいけないことが違ってきます。例えば、センターはディフェンスの時はゴールの近くで相手選手のシュートやドリブルを止めることが役目です。攻撃の時は、二ポイントエリアでシュートするのがセンターの役目となります。このように、チームの一人一人に役目があるからバスケットボールはできます。どんなスポーツでも、ポジションによってその選手の手力が最大限に引き出される所におかれます。チームメイトがいるからバスケットは楽しいです。それは、どんなスポーツでも同じだと思います。皆さんも、どんなスポーツでも、チームとチームメイトと仲良くして、スポーツをしている時間を楽しく過ごして下さい。

五月二十四日

- BNE 中三 尾島紗弥
- 今日は楽器を紹介したいと思えます。皆さん、これは何と言う楽器か知

っていますか。これは、バスーンという楽器です。日本ではファゴットと呼ばれています。

バスーンは木管楽器のひとつで、オーボエと同じように、上下に組み合わされた二枚のリードによって音を出すダブルリード式です。バスーンは、だいたい、メロディーではなく、伴奏を担当します。ですから、オーケストラの曲の中でバスーンの音を聞き分けるのは難しいです。バスーンはオーケストラの真ん中に座っています。演奏している人が見えなくても、楽器の先、筒のところが覚えてどこにいるか分かります。今度オーケストラのコンサートを聴きに行ったら、探してみてくださいね。



六月二十一日

BNE 中三 内山美沙

皆さんもご存じのように、今、ブラジルでサッカーワールドカップが開

かれています。一九三〇年、ウルグアイで始まったワールドカップは今回で二十回目だそうです。今回は、六月十二日から七月十三日まで世界の三十二チームの戦いが繰り広げられています。これまでの優勝回数、ブラジルが一位で五回、二位はイタリアで四回、三位はドイツで二回です。ちなみに、日本は優勝はしていませんが、今までの成績で世界の三十二番目だそうです。色々なスポーツでワールドカップがありますが、ワールドカップを最初に始めたのはサッカーでした。今回のワールドカップでは、日本はコートジボワールに負け、昨日の第二戦ではギリシャと引き分けになりました。最後は六月二十五日のコロンビア戦です。

ここにいいお話があります。それは第一戦でコートジボワールに負けたときのことです。試合の後、日本からのサポーターたちはゴミ袋を持ってスタンドの清掃を始めたそうです。普通、負けたら、ものを壊したり、暴力をふるったりする人が多いのですが、日本人の礼儀正しさには世界の人々がびっくりしたようです。

皆さん、第三戦も日本を応援しましょう！

## 季節の話題

七月十二日の第二学期始業式の日、朝練の約束をしていたため、私はプリンス校の中庭に七時半に行きました。この日、吐く息が白く見えたのは驚きました。ニュースによると、気温は七時には二、六度にまで下がったそうです。これは一九一一年以来、百三年振りの寒さだったそうです。さすがに子供達もダウンジャケットを着ていました。そんなものをよく持っていたものだと思い、お母さんに聞いてみましたら、日本でユニクロに行ったときに買っておいたそうです。賢いですね。私は持っていません。

寒さの中で元気に動き回る野鳥を見ながら、ピラカンサが赤い実をつけ、そこにヒヨドリやツグミが来ている日本の情景を想像しました。

春に小さな白い花を咲かせ、冬に赤い実をたわわにつけるピラカンサは、日本の冬の景色にぴったりの常緑低木で、住宅の庭や公園などでよく見かけられます。実が真っ赤になるのが欧州や西アジア原産で、色が少し薄いものが中国原産のものようです。

大昔の人は小鳥や動物が実を食べているのを見て、それが人間にも食べられると判断したそうですが、毒があ

ると言われているこのピラカンサの実を食べたと言う人の話は聞いたことがありません。しかし、ネットで調べたところ、二人いました。ひとりは、十二月に食べ、舌のしびれや苦みの不快感に三日間苦しめられたそうです。が、もう一人は二月に食べ、平気で、少し甘い味さえたそうです。あのヒヨドリたちは毒がいつ抜けるかを知っているに違いありません。

ヒヨドリは体調が二十七センチぐらいの比較的大きい野鳥で、目の下だけが茶色ですが、その他は灰色だらけの鳥で、日本にしかいません。鳴き方も「ピーヨ、ピーヨ」とうるさく、とてもかわいいとは言えませんが、自然の中で生命の躍動を繰り広げている姿は私たちに元気を与えてくれます。

ひよどりの

こぼし去りぬる



実のあかき (蕪村)